



CQM(超短期経済予測モデル)

稲田義久(APIR 研究統括)

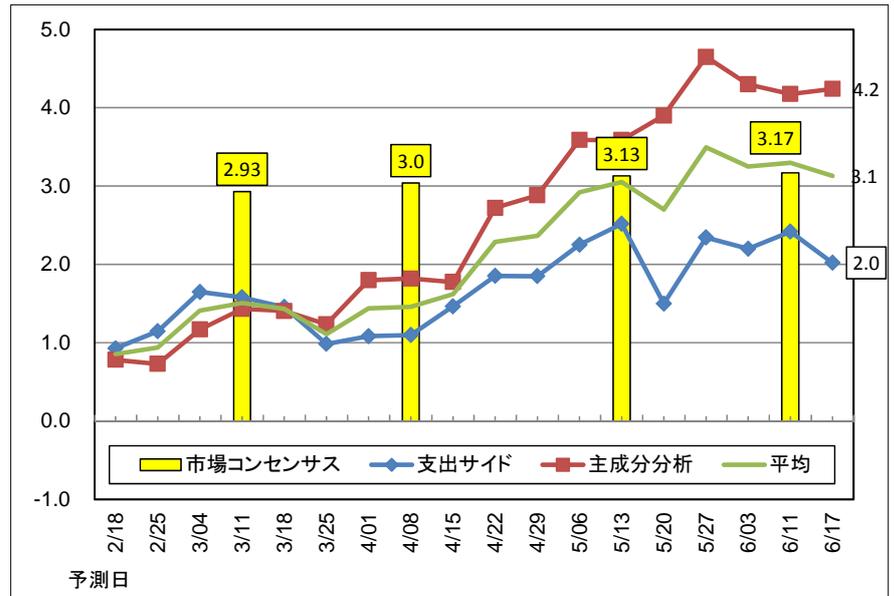
内容に関するお問い合わせは下記まで  
e-mail:inada-y@apir.or.jp

# 日本経済(週次)予測(2013年6月17日)

## ポイント

▶先週は5月の公共工事請負金額、国内企業物価指数、輸出入物価指数及び4月の機械受注が更新された。  
▶4月のコア機械受注は前月比-8.8%減少し3ヵ月ぶりのマイナス。この結果、4月実績は1-3月平均比+0.8%と小幅拡大にとどまっている。  
▶5月の公共工事請負金額は前月比15.8%増加し2ヵ月連続のプラス。この結果、4-5月平均は1-3月平均比+36.8%と大幅増加。4-6月期の民間企業設備は小幅拡大にとどまるが、公的固定資本形成は期待できる。  
▶5月の輸出物価指数は前年比13.5%上昇し7ヵ月連続のプラス。一方、輸入物価指数は前年比14.2%上昇し7ヵ月連続のプラス。この結果、交易条件指数は前年同月差-0.5ポイントと、5ヵ月連続で悪化した。  
▶今週のCQM(支出サイド)は4-6月期の実質GDP成長率を前期比年率+2.0%と予測する。先週から下方修正。主因は交易条件の悪化を受けた実質純輸出の下方修正である。

CQM 予測の動態：実質 GDP 成長率  
2013年4-6月期(%, 前期比年率換算)



### <交易条件の悪化を通じて4-6月期の純輸出の景気押し上げ圧力は弱まる>

先週は5月の公共工事請負金額、国内企業物価指数、輸出入物価指数及び4月の機械受注が更新された。

民間企業設備投資の先行指標であるコア機械受注は、4月に前月比-8.8%減少した。3ヵ月ぶりのマイナス。この結果、4月実績は1-3月平均比+0.8%と小幅拡大にとどまっている。公共工事の先行指標である公共工事請負金額は5月に前年比24.8%増加し2ヵ月連続のプラス。季節調整値(APIR 推計)は前月比15.8%増加し2ヵ月連続のプラス。この結果、4-5月平均は1-3月平均比+36.8%と大幅増加した。4-6月期の民間企業設備は小幅拡大にとどまるが、公的固定資本形成は期待できる。

5月の国内企業物価指数は前月比0.1%上昇し6ヵ月連続のプラス。前年比は+0.6%と2ヵ月連続のプラスとなった。品目別に見れば、電力・都市ガス・水道、非鉄金属、化学製品、石油・石炭製品は、国内企業物価指数(前年比)をそれぞれ押し上げた。

5月の輸出物価指数(円ベース)は前月比1.7%上昇し8ヵ月連続のプラス。前年比は13.5%上昇し7ヵ月連続のプラスとなった。一方、輸入物価指数(円ベース)は前月比+1.2%と7ヵ月連続のプラス。前年比も14.2%上昇し7ヵ月連続のプラス。この結果、交易条件指数は前年同月差-0.5ポイントとなり、5ヵ月連続で悪化した。

先週発表された新たなデータを更新した今週のCQM(支出サイド)は、4-6月期の実質GDP成長率を前期比+0.5%、同年率+2.0%と予測する。内需、純輸出ともに拡大するが、そのスピードは前期から減速している。先週の予測(+2.4%)から下方修正。主因は交易条件の悪化を受けた実質純輸出の下方修正である。

・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。  
・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。  
・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 [contact@apir.or.jp](mailto:contact@apir.or.jp) 06-6485-7690